

令和元年5月20日

報道機関 各位

富山県内初！ 富山大学附属病院で肥満外科手術を実施

富山大学附属病院（病院長：林篤志）は、去る5月13日、富山県内では初めてとなる肥満外科手術を実施しました。

肥満外科手術は、高度肥満の患者さんに対して行われる手術で、食事療法や運動療法などの内科的治療による減量効果、糖尿病などの合併する病気の改善効果が乏しい場合に有効です。胃をバナナ一本ぶん小さくする手術で、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術と呼ばれています。具体的には、患者さんの体に小さな穴を開け、その穴を通じて腹腔鏡と呼ばれるカメラをおなかの中に挿入し、高精度の映像を見ながら様々な腹腔鏡用の道具を用いて行う手術です。小さな傷で行うことが可能で、患者さんの体への負担の少ない手術を行うことができます。富山県内では初の実施となります。

富山大学附属病院では、今後も皆様に最先端の医療を提供して参りたいと考えております。

記

1. 実施日：令和元年5月13日（月）
2. 実施場所：富山大学附属病院手術室
3. 術式名：腹腔鏡下スリーブ状胃切除術
4. 執刀医：藤井努 教授・橋本伊佐也 診療指導医ら第二外科を中心とした手術チーム
5. 患者：20歳代，女性

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学附属病院 第二外科
教授 藤井 努
TEL. 076-434-7331